

## 地域の実情と課題

- 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、心理的・精神的な不安、失業・収入減等による経済的な問題、配偶者等からのDV被害、子育ての悩み等を抱える女性からの相談が増加

一方

- 相談者にとって行政の相談窓口は心理的にハードルが高く相談しにくいとの声がある

## 目的・目標

- NPO等民間団体の力を活用し困難を抱える女性に寄り添う支援・相談を実施  
相談対応件数 【実績】5, 051件

- 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ相談室利用者数  
(相談件数)  
相談件数 【目標】2, 560件 【実績】4, 207件

## 事業の特徴

### ○女性のためのつながりサポート事業業務委託

- ・民間団体が実施するイベント等の機会を捉え声掛けし、相談につなげる
- ・NPO等民間団体の経験やノウハウを活用し、様々な課題・困難を抱える女性へ同行支援を行い、フォローアップや継続的相談を実施する
- ・必要な生理用品等の提供、広報活動
- ・スキルアップ研修実施

## 連携団体

### 【女性のためのつながりサポート事業業務委託】

- ①社会福祉法人グリーンコープ
- ②特定非営利活動法人フードバンク北九州ライフアゲイン
- ③特定非営利活動法人あそびとまなび研究所

### 【その他連携先】

- ・デートDV予防教室
- ・男女共同参画に関する広報啓発活動
- ・ウーマンワークカフェ北九州
- ・北九州市孤独孤立対策等連絡協議会
- ・区役所 子ども家庭相談コーナー
- いのちをつなぐネットワーク

## 事業の効果

- NPO団体が独自で実施しているフードパントリー等のイベントでの声掛けをきっかけに相談につなげることができた。

- アウトリーチの相談として、ハードルが高いとされる行政窓口への同行などで必要な支援につなげることができた。  
(同行支援102件)

- 連絡会議・研修を通じ、ノウハウの共有や相互連携、引継ぎができた。

## 今後の課題

- NPO団体から行政窓口へのスムーズにつなぐために関係部局との情報共有を密に行う必要がある。

- 支援や相談は限定的で、まだ潜在的なニーズにアプローチしきれていない。事業の周知、広報の手法の工夫が必要である。

- 包括的な支援体制整備

## 困難を抱える女性に寄り添う緊急支援業務委託

3つの団体が連携しながらきめ細かな支援を実施

●委託期間：令和5年7月1日～令和6年3月15日

### 【主な支援実績】

種類	件数
相談 (声掛け・電話・面接)	5,051件
同行支援	102件
生理用品の配布	379件

### 【相談種別】

- ①孤立・孤独
- ②心理的相談
- ③DV・性暴力
- ④経済的相談
- ⑤健康問題
- ⑥子育て
- ⑦介護
- ⑧学習支援
- ⑨発達相談
- ⑩人間関係
- ⑪その他

### 【実施団体】

(社福)グリーンコープ

(特非)あそびとまなび研究所

(特非)フードバンク北九州ライフアゲイン



### 【研修会】 支援者向け研修会



### 【効果】 スキルアップ、情報共有、関係団体との連携

